

「リオ+20」 ジャパンパビリオンへ出展

ー戸田建設の低炭素社会に向けた取り組みを国際社会へアピールー

戸田建設(株) (社長：井上舜三) は、リオデジャネイロ(ブラジル)で開催される「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」のサイドイベント「リオ+20」ジャパンパビリオンに日本のゼネコンとして唯一出展します。(開催期間：2012年6月13日～24日)

「リオ+20」は1992年に同地で開催されて「地球サミット」から20年を迎えた節目に、今後10年の経済、社会、環境のあり方を議論する国連会議です。本会議には約130ヶ国から首脳級の参加が予定され、この期間に並行して行われる政府、NGOなどのイベントと合わせて約5万人の参加が見込まれています。

当社では、在ブラジル海外現地法人である「ブラジル戸田建設(株)」が中心となり、日本国内における低炭素社会に向けた取り組みを紹介しています。

日本から出展するゼネコンは戸田建設のみです。



RIO+20
United Nations
Conference on
Sustainable
Development



**JAPAN
GREEN
INNOVATION**



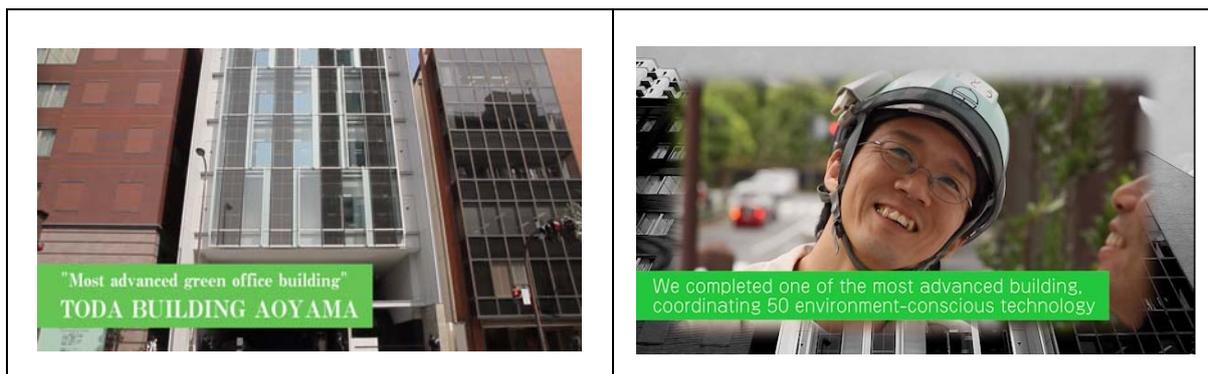
図1 出展ブースのイメージ

1. 展示物について

① 「TODA BUILDING 青山」の紹介

- ・2011年3月に東京都港区に竣工した「TODA BUILDING 青山」をパネル、模型で展示しています。
- ・「TODA BUILDING 青山」は、当社の自社開発物件であり、50の環境配慮技術を駆使し、高い環境性能を誇っており、「CASBEE-S」ランクを取得しています。(「CASBEE」 建築環境総合性能評価システム)

- ・ 英語版プロモーションムービー



② 「低炭素施工システム TO-MINICA (TODA Minimum Carbon Construction)」の紹介

- ・ CO2 排出量を原単位で▲40% (1990 年→2020 年) を目標に、日本国内で実施している「低炭素施工システム」の紹介をしています。
- ・ BDF (バイオ・ディーゼル燃料)、仮設 LED の採用、省燃費運転等の取り組みをパネルで説明。

③ 「浮体式洋上風力発電」の紹介

- ・ 実証事業として環境省から受託している「浮体式洋上風力発電施設の開発」をパネルで紹介しています。

2. ブラジル戸田建設 (株) について

ブラジル戸田建設 (株) は、本年 7 月に創立 40 年を迎えます。ブラジルにおける数少ない日系ゼネコンであり、サンパウロ州内の建築主体施工会社ランキングでは 10 位を伺う位置にあります。

<https://www.toda.co.jp/business/overseas/brazil.html>